

年 報 16

平 成 6 年 度



沼向遺跡 古墳確認状況

平 成 7 年 3 月

仙 台 市 教 育 委 員 会

年 報 16

平 成 6 年 度



沼向遺跡 古墳確認状況

平 成 7 年 3 月

仙 台 市 教 育 委 員 会

序 文

近年、全国各地で行われております大規模な遺跡の発掘調査により、新しい成果が次々と公表されておりますが、これに伴い、多くの皆様が遺跡を訪れ、文化財への理解を深めていただいていることは、文化財保護行政に携わるものとして大変喜ばしいかぎりであります。仙台市教育委員会でも、市内に残る貴重な文化財を保護し、後世に伝えるとともに、市民生活の中で親しんでいただけるよう、様々な角度から文化財保護事業の推進に取り組んでまいりました。

一般文化財関係では、今回新たに有形文化財資料の中から、雪村周辯筆「瀧灌八景図」と高久靄筆と伝えられる「大年寺山真景図」の水墨画2点を仙台市指定有形文化財として指定いたしました。また、文化財めぐり、文化財講演会、文化財展、民俗芸能のつどい等、様々な市民参加行事を実施し、いずれもご好評いただきましたことは主催者として喜びに堪えません。

埋蔵文化財の発掘調査事業につきましては多くの皆様のご協力とご支援をいただきながら34件の野外調査、室内整理を行って参りました。燕沢遺跡では平安時代の寺院僧房の発見をはじめ、四郎丸館跡や仙台港背後地内の沼向遺跡では古墳時代初めの方形周溝墓の発見など、原始・古代の仙台の歴史がしだいに明らかになってまいりました。また、昭和63年の発見以来、全国的に注目されております富沢遺跡の旧石器時代遺構群につきましては、遺跡保存公開のための（仮称）富沢遺跡保存館建設工事が平成6年10月に着工し、平成8年秋のオープンを目指して進められております。

今後とも文化財保護行政に対しまして、市民の皆様のご支援とご助言を賜りますようお願い申し上げ、刊行のご挨拶といたします。

平成7年3月

仙台市教育委員会

教育長 塙山繁

目 次

序 文

目 次

例 言

I 文化財の保護管理.....	1
II 文化財の普及啓発.....	4
III 埋蔵文化財の調査.....	8
N 指定文化財一覧.....	26

職 員 錄

仙台市文化財調査報告書刊行目録

例 言

1. 本書は仙台市教育委員会社会教育部文化財課が、平成6年度に実施した保護管理・普及啓発・埋蔵文化財調査の各事業に関する年度報告書である。
2. 本書の地形図は、建設省国土地理院発行五万分の一「仙台」を使用した。
3. 執筆は各担当を行い、編集は全員の協力のもとに木村浩二が行った。

I 文化財の保護管理

(1) 文化財の指定

仙台市教育委員会は、平成7年2月に仙台市文化財保護委員会に市指定の文化財について諮問し、その答申を受けて平成7年3月23日付で次の水墨画2件を新たに仙台市指定有形文化財に指定した。

① 有形文化財（絵画）

瀟湘八景図 雪村周繼筆 六幅 室町時代

紙本墨画 掛軸表（各130.0cm×51.8cm）

瀟湘八景図は、中国湖南省洞庭湖にそそぐ瀟水と湘水の合流する辺りの佳景を描いたものである。八景のうち「洞庭秋月」と「瀟湘夜雨」に該当する景色を特定することが難しいが、最初からそうであったのか或いは途中で失われたのかは不明である。

作者の雪村は、室町時代後期から桃山時代の画僧で、諱は周繼。常陸国太田に生まれ関東・南東北地方を中心に活躍した。舟舟に私淑し、宋元画を学んだ。会津に住んだ後晩年は福島の三春に隠棲し、その地で没した。

落款には、「継雪村老翁図筆」とあり、巧みな濃淡の筆墨による描画は、晩年の雪村が到達した独自の画境を示すものである。

この作品は伊達家伝来品で、昭和26年に仙台市に寄贈された。引手の跡が残るところからかつては複数であったと思われるが、寄贈時には捲りの状態であり、昭和37年に軸仕立てにしたものである。

② 有形文化財（絵画）

大年寺山真景図 伝高久靄庄筆 一面 江戸時代

紙本墨画 額表（25.1cm×131.0cm）

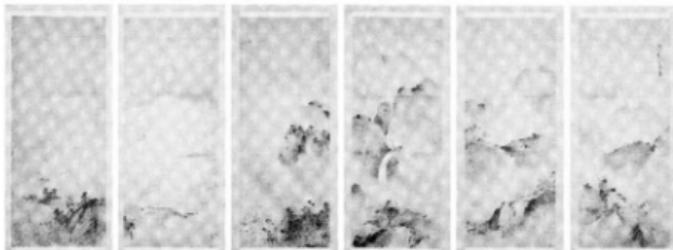
大年寺山真景図は、広瀬川を隔てて見た大年寺山を写生したもので、当時の情景を示す歴史資料ともなっている。文人の理想郷を描く抽象的な山水画と異なり、実景に基づいて描かれた真景図は、江戸時代後期の南画家を中心に流行した。

作者とされる靄庄（1796-1843）は、下野那須の人で、谷文晁に学び、明・清の画家の画を研究し、南画の巨匠と言われた文人画家である。

靄庄は、仙台を三度訪れ、上橋にあった歌人の一条家に泊まるのが常であった。

この作品は、「三太郎の日記」の著者で仙台市名誉市民の阿部次郎（1883-1959）が昭和初期に隣家の一条家から入手したもので、落款はないが、同時に入手した靄庄の作品の間にあったことから靄庄筆とされ、長く阿部家の二階の客間に掲げられていたことはよく知

られているところである。現在は仙台市博物館に寄託されている。



瀬湘八景図 雪村周密筆



大年寺山真景図 伝高久潤庄筆

(2) 仙台市文化財保護委員会

平成 6 年度は、仙台市文化財保護委員会の定例会を 6 回開催した。

日 程	議 題
4月26日	(1) 平成 5 年度文化財実施事業について (2) 平成 6 年度文化財事業計画について
6月14日	(1) 仙台市登録文化財制度について (2) 仙台市登録文化財候補目録について
8月 9 日	(1) 仙台市登録文化財候補目録について
10月18日	文化財現地視察 ① 山形城跡 ② 山形市旧済生館本館 ③ 山形県東村山郡中山町柏倉家住宅
12月20日	(1) 仙台市指定文化財候補について (2) 仙台市登録文化財候補目録について
2月 7 日	(1) 仙台市指定有形文化財の指定について（諮問） (2) 仙台市文化財保護条例の一部改正について (3) 平成 6 年度発掘調査報告

(3) 補助事業

① 陸奥国分寺跡及び陸奥国分尼寺跡買上

史跡の保護活用を図るため、陸奥国分寺跡地内の土地 2 件 (695.05m²)、陸奥国分尼寺跡地内の土地 1 件 (249.24m²) を公有化した。

② 有形文化財補助

指定文化財の保存修理のため次の事業に対して補助を実施した。

- ・大崎八幡神社管理事業（社殿塗装修理、防災設備保守点検）
- ・東照宮管理事業（透塗装修理、防災設備保守点検）
- ・陸奥国分寺薬師堂管理事業（防災設備保守点検）
- ・莊嚴寺山門解体修理事業

③ 無形文化財補助

伝統的な工芸技術である宮城県指定無形文化財「精好仙台平技術」の保持事業に対し補助を実施した。

④ 無形民俗文化財補助

民俗芸能の後継者養成等の保持事業及び人道具製作補修事業に対し補助を実施した。

- ・民俗芸能保持事業補助

秋保（湯元、長袋、馬場）の田植踊、大崎八幡神社の能神楽、愛子の田植踊、大倉の役人田植踊、新川の田植踊、芋沢の田植踊、下倉の田植踊、川前の鹿踊・剣舞、野口の鹿踊、滝原の獅子舞、福岡の鹿踊・剣舞、馬場愛宕神社神楽、上谷刈の鹿踊・剣舞、大沢の田植踊、柳流吉麻神楽、生出森八幡神楽 18団体

- ・大道具等製作補修補助

湯元の田植踊、生出森八幡神楽

(4) 文化財の管理

① 史跡等の維持管理

遠見塚古墳、陸奥国分寺跡、山田上ノ台遺跡、富沢遺跡、三沢初子の墓など、松森焰硝蔵跡等について、定期的に除草清掃を実施した。

② 史跡等の現状変更

現状変更の内容としては、史跡陸奥国分寺跡の汚水管交換、照明灯の建替、史跡経ヶ峯伊達家墓所の歩道整備、電話支線設置、史跡岩切城跡の公園環境整備、天然記念物苦竹のイチゴウの樹勢維持管理、特別天然記念物カモシカの減少 8 件などであった。

③ 文化財防火デー

第41回文化財防火デーに際し、1月26日を中心仙台市消防局と連携して、管轄消防署による指定建造物の特別査察や、地域住民等の協力を得て、防災訓練等を実施した。

④ 伝統工芸新作展

地域の伝統工芸作家の保護育成のため、伝統工芸新作展を宮城県教育委員会等と共に催した。

(5) 文化財の調査

太白区内の文化財分布調査を実施し、太白区文化財分布地図を発行した。

II 文化財の普及啓発

市民の文化財に対する理解と認識を深め、文化財保護思想の啓発を図るため次の事業を実施した。

(1) 説明板、標柱の設置

説明板	名 称	種別	設 置 場 所
	鹿野の古墳	新設	太白区鹿野一丁目9
	郡山遺跡	新設	太白区郡山五丁目10
	落合観音堂	新設	太白区四郎丸字落合60
	苦竹のイチュウ	再建	宮城野区銀杏町7
標 柱	朝鮮ウメ	再建	若林区古城二丁目3

(2) 文化財パンフレット等の発行

- ① 「広報文化財」第49号、第50号、第51号 各13,000部
- ② 文化財パンフレット第36集 「古墳を築いた人々—古墳時代—」 5,000部
- ③ 文化財パンフレット第35集 「辻標」増刷 4,000部
- ④ 文化財パンフレット第29集 「仙台の民俗芸能」増刷 2,000部

(3) 文化財めぐり

テーマ：「仙南地方の文化財をめぐる」 平成6年9月10日㈯

行 先： 角田市郷土資料館、高蔵寺、旧佐藤家住宅、斎理屋敷、古町古墳群

講 師： 遠藤 久七氏（角田市郷土資料館長）、佐藤 芳彦氏（高蔵寺住職）

志間 泰治氏（郷土史家）

(4) 第36回文化財講演会

テーマ：「古民家の魅力」平成6年11月5日(土) 仙台市福祉プラザ ふれあいホール

講師：佐藤 巧氏 仙台市文化財保護委員会副委員長

(5) 第9回民俗芸能のつどい

—伝承される人々の心— 平成7年3月11日(土) 市民会館小ホール

出 演：湯元の田植踊、柳流青麻神楽、流原の顕拌、保柳神楽（古川市）

解 説：千葉 雄市氏 仙台市文化財保護委員会委員

民俗芸能の記録保存のため、「第9回民俗芸能のつどい」のビデオ撮影を実施した。



第36回 文化財講演会



第9回 民俗芸能のつどい

(6) 親子縄文教室

7月9日(土)、7月17日(日)、8月20日(日)の3日間の予定で、泉市民センター、富沢整理室敷地を会場として実施した。市内の小学6年生の親子27組に、縄文講座、土器作りを体験して頂いた。第3日目に予定していた土器焼きは度重なる雨天のため、職員が後日行った。



親子縄文教室 講座「体感！縄文時代」



親子縄文教室 縄文土器づくり

(7) 第21回文化財展－古墳時代展－

12月10日(土)～12月14日(水)の5日間、東北電力グリーンプラザにて実施した。「古墳を築いた人々」をテーマに、古墳の副葬品・多種の土器・木製品等の出土遺物と、写真・イラスト・解説パネル等の展示を行った。短期間の中、2000名にも及ぶ市民の方々が会場を訪れた。

(8) 第21回文化財展記念講演会

12月10日(土)、141ビル5階セミナーホールにおいて実施した。講師に明治大学教授で古墳時代研究の第一人者である大塚初重氏をお迎えし、「古墳が語る仙台の歴史」をテーマに約2時間にわたり講演して頂いた。160名の市民の方々が来場し、講演に熱心に耳を傾けていた。



第21回文化財展



第21回文化財展記念講演会

(9) 第22回文化財展－発掘この一年－

3月16日(土)～3月24日(日)の9日間、青葉地下道ギャラリーに於いて実施した。今年度実施した14遺跡の発掘調査成果・普及啓発事業について、写真パネルを中心に市民の方々に紹介した。

(10) 遺跡見学会・発掘体験学習

遺跡の発掘調査現場を見学してもらう遺跡見学会や、実際に発掘調査を体験してもらう発掘体験学習を、学校、市民センター等を対象に実施して。

遺跡見学会	5月24日	大野田遺跡	長町南小学校社会学級
	5月27日	遠見塚古墳	高森中学校
	5月30日	富沢遺跡	長町南小学校
	7月15日	大野田・元袋遺跡	北上市埋蔵文化財センター
	7月29日	富沢遺跡	富沢中学校
	7月29日	富沢遺跡	仙台市中学校社会科研究会
	9月3日	洞ノ口遺跡	中世都市研究会

	9月20日	郡山遺跡	郡山中学校
	10月4日	洞ノ口遺跡	中山中学校両親学級
	10月11日	大野田遺跡	郡山中学校両親学級
	10月18日	大野田遺跡	東北福祉大学博物館実習
	10月20日	大野田遺跡	街道探訪会
	10月28日	大野田遺跡	柏木市民センター
整理室見学	6月6日	泉堀蔵文化財整理室	七北山児童センター
	1月18日	高砂堀蔵文化財整理室	北上市埋蔵文化財センター
発掘体験学習	9月13日	大野山遺跡	長町南小学校
	11月16日	大野田遺跡	山田中学校

(1) 記者発表・現地説明会

発掘調査成果の公開を、報道各社を対象に行う記者発表や市民対象に行う現地説明会を以下のとおり実施した。

大野田遺跡	記者発表	4月20日	現地説明会	4月23日
相ノ原遺跡			"	6月11日
富沢遺跡	"	7月7日	"	7月9日
洞ノ口遺跡	"	10月6日	"	10月8日
沼向遺跡	"	12月1日	"	12月3日
燕沢遺跡	"	12月8日	"	12月11日

III 埋蔵文化財の調査

1. 調査一覧

国庫補助事業としては郡山遺跡及び仙台平野の遺跡群として燕沢遺跡の発掘調査を実施した。

受託事業としては四郎丸館跡、中田南遺跡、下ノ内浦遺跡、洞ノ口遺跡、今泉遺跡、沼向遺跡、富沢遺跡4件の計10件を調査した。

自主事業としては郡山遺跡、大野田遺跡、元袋遺跡、南小泉遺跡、春日社古墳、相ノ原遺跡、富沢遺跡の計7件を調査した。

他に整理作業及び報告書刊行として7件ある。

平成6年度文化財課調査事業一覧

遺跡名	所在地	調査事由	調査期間	調査面積	内容	調査担当
郡山遺跡	太白区郡山	国庫補助15年目	4/19~1/10	760㎡	飛鳥~奈良 古墳・寺院跡	長島・熊谷
仙台平野の遺跡群	宮城野区燕沢	国庫補助14年目	11/4~12/27	400㎡	奈良~近世 寺院跡	長島・熊谷
大野田遺跡	太白区大野田	都市計画道路建設	4/4~12/22	4,500㎡	麗文~平安 祭祀・聚落跡	小川・王派他4名
元袋遺跡	太白区大野田	都市計画道路建設	7/4~12/26	360㎡	弥生~近世 水田・聚落跡	小川・土浜・川名
南小泉遺跡	若林区遠見塚	公共施設建設	4/13~7/20	1,000㎡	古墳 集落跡	五十嵐・渡部鈴・樺原
四郎丸館跡	太白区四郎丸	宅地造成	4/11~6/30	1,100㎡	古墳~近世 墳墓・城跡	渡部鈴・竹田
中田南遺跡	太白区中田	宅地造成	12/1~12/22	210㎡	平安~中世 祭祀・聚落跡	太田・三塚
下ノ内浦遺跡	太白区長町南	共同住宅建設	4/18~9/26	548㎡	麗文~近世 水田・聚落跡	斎野・神戸・渡部鈴
春日社古墳	太白区大野田	十地区画整理事業	9/19~10/28	230㎡	古墳	五十嵐・渡部鈴
洞ノ口遺跡	宮城野区岩切	十地区画整理事業	4/11~12/26	5,200㎡	平安~中世 水田・城跡	佐藤明・佐藤和・平間
今泉遺跡	若林区今泉	宅地造成	7/4~10/20	290㎡	弥生~近世 聚落・城跡	渡部鈴・竹田・三塚
相ノ原遺跡	太白区坪沼	市道建設	4/18~7/8	1,000㎡	麗文~平安 聚落跡	丁澤園・佐藤和
沼向遺跡	宮城野区中野	仙台港背後地十地区画整理事業	9/1~3/15	5,000㎡	弥生~平安 水田・埴輪 聚落跡	佐藤明・竹田
富沢遺跡	太白区長町南	店舗建設及び住宅建設等	4/12~12/26	2,266㎡	旧石器~近世 森林・水田跡	太田・佐藤明他6名

(1) 郡山遺跡

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区郡山3丁目地内外 | 4. 調査原因 遺跡範囲確認調査 |
| 2. 調査期間 平成6年4月19日～7年1月10日 | 市道拡幅に伴う事前調査 |
| 3. 調査面積 760m ² | 5. 調査員 長島栄一、熊谷裕行 |

第3次5ヶ年計画の5年次にあたり、Ⅰ期官衙南西城、Ⅱ期官衙政庁城南辺付近の遺構確認を目的として調査を計画した。また市道拡幅に伴う事前調査を実施した。調査の結果、Ⅰ期官衙の西辺を区画するとみられる材木列抜き取り溝を1条、縦柱建物跡1棟、Ⅱ期官衙に伴う掘立柱建物跡3棟などを検出した。しかし政庁城南辺の区画施設は検出されなかった。



郡山遺跡



Ⅱ期官衙政庁建物跡

(2) 燕沢遺跡－第8次調査－

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市宮城野区燕沢3丁目地内 | 4. 調査原因 遺跡範囲確認調査 |
| 2. 調査期間 平成6年11月4日～12月27日 | 5. 調査員 長島栄一、熊谷裕行 |
| 3. 調査面積 400m ² | |

七北田丘陵の東端に位置する遺跡である。第8次調査は丘陵のほぼ頂上部に位置し、標高は約32mである。調査の結果、掘立柱建物跡1棟・柱列1列・竪穴遺構2基・溝跡6条・土坑1基・ピットなどを検出した。堀立柱建物跡は柱穴の配置から寺院の僧房と考えられ、平安時代には寺院が存在していたことが初めて明らかになった。



燕沢遺跡

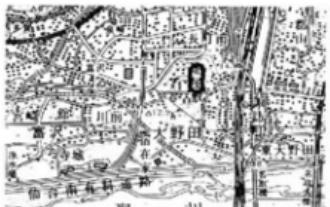


寺院僧房建物跡

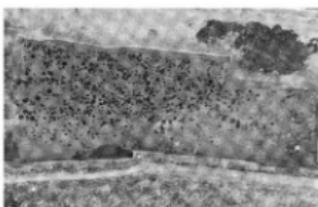
(3) 大野田遺跡

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区大野田字袋東・袋前 | 4. 調査原因 都市計画道路建設 |
| 2. 調査期間 平成6年4月4日～12月22日 | 5. 調査員 主浜、小川、赤澤 |
| 3. 調査面積 約4,500m ² | 川名、高橋、五十嵐 |

名取川の北方約1kmの自然堤防上に立地している。昨年度から調査している縄文時代から中世までの複合遺跡である。中世は掘立柱建物跡、古代は竪穴住居跡・烟跡が検出された。縄文時代後期前半の遺構や遺物包含層・河川跡からは多量の土器や石器・骨角器などの他に、約270点もの土偶が出土している。また、配石遺構・配石墓・土塙墓・埋設土器遺構や、多くの土塙・柱穴群も検出され、この地が墓地でありかつ祭祀(まつり)の場でもあることがわかった。



大野田遺跡



縄文時代の柱穴群と土塙

(4) 元袋遺跡

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区大野田字元袋 | 4. 調査原因 都市計画道路建設 |
| 2. 調査期間 平成6年7月4日～12月6日 | 5. 調査員 主浜光朗、小川淳一 |
| 3. 調査面積 約360m ² | 川名秀一 |

大野田遺跡の北側に隣接して立地する遺跡で、標高は約10m前後である。昨年度に引き続いだ調査を行い、中世から近世にかけての堀跡や井戸跡、掘立柱建物の柱穴、中世の火葬跡や土坑が検出され、さらに下層からは奈良時代から平安時代にかけての竪穴住居跡・溝跡・窓跡等が検出された。遺構からは中世陶器や土器の他に、漆器やフイゴの羽口等が出土している。



元袋遺跡



調査区全景

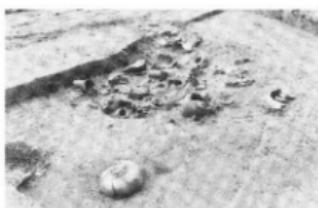
(5) 南小泉遺跡

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 調査地 仙台市若林区遠見塚1丁目22番地外 | 4. 調査原因 公共施設建設 |
| 2. 調査期間 平成6年4月13日～7月20日 | 5. 調査員 五十嵐康洋、渡部 紀 |
| 3. 調査面積 約1,000m ² | 篠原信彦 |

広瀬川北岸の自然堤防上に立地しています。今まで各地点で調査が行われてきており、今年度の調査は第25次調査にあたります。今回は道路部分の調査で、窪穴住居跡や、溝跡、井戸跡などが見つかりました。特に溝跡からは、古墳時代の土器がたくさん見つかりました。また、石で作られた劍や鏡の模造品も多く見つかっています。



南小泉遺跡



溝跡から土器の出土している様子

(6) 四郎丸館跡

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区四郎丸字戸ノ内93番地外 | 4. 調査原因 宅地造成 |
| 2. 調査期間 平成6年4月11日～6月30日 | 5. 調査員 渡部弘美、竹田幸司 |
| 3. 調査面積 約1,100m ² | |

名取川北岸の標高3.5mほどの自然堤防に立地している。近世の溝跡・井戸跡、中世の城館に伴う土坑・畠跡・井戸跡・溝跡、平安時代の住居跡・掘立柱列・畠跡・土坑・溝跡、古墳時代前期の方形周溝墓などが検出されている。方形周溝墓からは底部穿孔の土師器壺と杯が出土している。平安時代の住居跡からは灯明皿に使用した杯が3点出土している。



四郎丸館跡



方形周溝墓全景

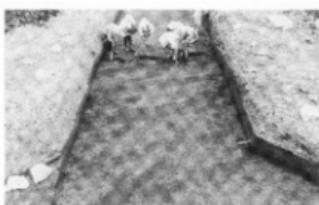
(7) 中田南遺跡

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区中田七丁目 | 4. 調査原因 宅地造成 |
| 2. 調査期間 平成6年12月1日～平成6年12月22日 | 5. 調査員 太田昭夫・三塚 靖 |
| 3. 調査面積 約210m ² | |

名取川から南へ約1.7km、標高7mほどの自然堤防上に立地している。調査の結果、古代から中世にわたる遺構や遺物が発見された。遺構としては、小溝状遺構群・溝跡・井戸跡などが検出され、その中からは、土師器・陶器・木製品などの遺物が出土した。小溝状遺構群は平安時代の畠跡と考えられ、中世の井戸跡からは、白石窯産と思われる大甕も出土している。



中田南遺跡



作業風景

(8) 下ノ内浦遺跡

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区長町南四丁目32-1 | 4. 調査原因 共同住宅建設 |
| 2. 調査期間 平成6年4月18日～平成6年9月26日 | 5. 調査員 斎野裕彦、神成浩志 |
| 3. 調査面積 548m ² | 渡部 紀 |

名取川の支流、笊川の左岸の自然堤防上に立地する。縄文から江戸時代の遺構・遺物が発見されている。調査の結果、平安時代以降の水田跡（1時期）、平安時代の水田跡（3時期）、平安時代の小溝状遺構群・土坑・溝跡、奈良～平安時代の畠跡、奈良時代の掘立柱建物跡・小溝状遺構群・溝跡などが検出された。その結果、この地区の土地利用の変遷が明らかになった。



下ノ内浦遺跡



第7a層上面遺構群（奈良時代）

(9) 春日社古墳

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区大野田字宮 | 4. 調査原因 土地区画整理事業 |
| 2. 調査期間 平成6年9月19日～10月28日 | 5. 調査員 渡部 紀、五十嵐康洋 |
| 3. 調査面積 約230m ² | |

名取川北岸の自然堤防に立地している。大野山古墳群の中で、もっとも規模の大きな古墳である。今年度は試掘調査を行った。墳頂部からは、主体部と葺き石が検出された。主体部は約2×1mの長方形で、石棺と考えられる板石が数点見られたが、盜掘を受けているようである。葺き石は北東部に多く分布している。周溝の状況から、円墳と考えられる。



春日社古墳他



調査風景

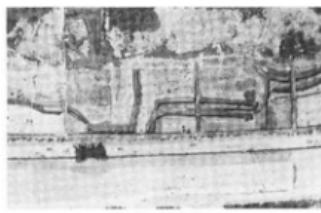
(10) 洞ノ口遺跡

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市宮城野区岩切字洞ノ口 | 4. 調査原因 土地区画整理事業 |
| 2. 調査期間 平成6年4月11日～平成6年12月26日 | 5. 調査員 佐藤 洋、平間亮輔 |
| 3. 調査面積 約5,200m ² | 佐藤 淳 |

昨年度に統いて中世の城館の調査を行った。外堀や城館内部を区画する多数の堀跡の他、これらの中では各曲輪の内部では多数の掘立柱建物跡・井戸跡・土坑・溝跡等を検出した。遺物の中では漆器・木簡・塔婆等、多数の木製品が注目される。なお下層からは中世前半と平安時代の水田跡や畠跡の他、堅穴住居跡・掘立柱建物跡・溝跡等が検出されている。



洞ノ口遺跡



洞ノ口遺跡

(1) 今泉遺跡

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 調査地 仙台市若林区今泉二丁目地内 | 4. 調査原因 宅地造成 |
| 2. 調査期間 平成6年7月4日～10月20日 | 5. 調査員 渡部弘美、竹田幸司 |
| 3. 調査面積 約290m ² | 三塚 靖 |

名取川北岸の標高3.5m前後の自然堤防上に立地する城館跡を中心とする遺跡である。今回の調査では弥生時代の土器棺墓、平安時代の土坑・溝跡、中世の火葬遺構・井戸跡・溝跡が検出され、弥生時代から近世までの遺物が出土している。なお、調査区南側で東西に延びる幅8m以上の大溝を検出している。位置・規模から城館の外堀跡と考えられる。



今泉遺跡



調査区全景

(2) 相ノ原遺跡

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 調査地 仙台市太白区坪沼字相ノ原地内 | 4. 調査原因 市道建設 |
| 2. 調査期間 平成6年4月18日～7月8日 | 5. 調査員 工藤信一郎、佐藤 淳 |
| 3. 調査面積 約1,000m ² | |

遺跡は赤石橋近くの名取川南岸の河岸段丘上に立地し、平成2年度に実施した1次調査では平安時代の堅穴住居跡1軒、石組の溝跡などが発見された。今回発見された遺構は同時期の堅穴住居跡7軒に加え、段丘縁辺部で縄文時代後期を中心とした多くの土坑や遺物包含層があり、出土した遺物は土師器、須恵器、繩文土器のほか、多数の石器や、土偶などの土製品がある。



相ノ原遺跡



平安時代の堅穴住居跡

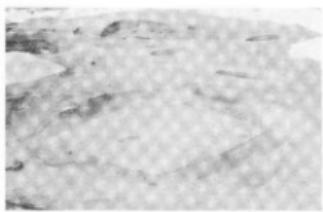
(13) 沼向遺跡

- | | | | |
|---------|--|---------|-----------|
| 1. 調査地 | 仙台市宮城野区中野字沼向126外 | 4. 調査原因 | 土地区画整理事業 |
| 2. 調査期間 | 平成6年9月1日～平成7年3月16日 | 5. 調査員 | 佐藤甲二、竹田幸司 |
| 3. 調査面積 | 本調査：約3,000m ² 試掘調査：約1,350m ² | | |

仙台市の北東端、仙台新港北方約500mの砂堤上に立地する。標高は1.6m前後で、北側谷地部分との比高差は、約1mである。古墳時代前期の住居跡1棟・方形周溝墓3基・土坑10数基、これらより新しい円墳が6基以上（内3基調査）、平安時代以降の畠耕作痕などが検出された。また、北側谷地部分の試掘調査では、平安時代以前の4期の水田跡が検出された。



沼向遺跡



方形周溝墓と土坑群

(14) 富沢遺跡（第86・88・89・90・91次調査）

- | | | | |
|---------|---------------------|---------|---|
| 1. 調査地 | 仙台市太白区長町・長町南地区 | 4. 調査原因 | 店舗および住宅建設など |
| 2. 調査期間 | 平成6年4月12日～12月26日 | 5. 調査員 | 太田昭夫、佐藤甲二
斎野裕彦、中富 洋
神成浩志、三塚 靖
五十嵐康洋、川名秀一 |
| 3. 調査面積 | 2,266m ² | | |

仙台市南東部の、広瀬川と名取川およびその支流の笊川に挟まれた、標高10m前後の後背湿地を中心に立地する遺跡である。今年度は5地点で調査が実施され、主に弥生時代・平安時代・中～近世の水田跡が調査された。また、88次と90次ではさらに下層において後期旧石器時代の調査も行なわれた。90次は30次調査の追加調査であり、今回の調査では生活跡は発見されなかつたが、以前の調査と同様に樹木群が検出され、数々の植物化石なども発見された。

88次は、30次調査の北北東約100mの地点であり、ここでも30次と対応する層から樹木群が検出され、森林跡の広がりが確認された。また、ここではさらに下層において焚き火跡と考えられる灰化物片集中箇所も発見された。



富沢遺跡



第88次調査 旧石器時代の樹木群

次数	所 在 地	調査の原因	調 査 期 間	調査面積	調 查 結 果 (主な発見遺物)	文 書
86	長町七丁目20-1	店舗建設	平成6年4月13日～8月5日	約880m ²	縄期末期の井戸跡、平安時代の水田跡・3時窯、弥生時代の木臼跡、土坑など	
88	長町南四丁目1-3	共同住宅建設	平成6年4月12日～8月5日	621m ²	近畿の土坑、4～5世紀の水田跡、旧石器時代の遺構（焼化物片・地中窓）、朽木群など	第203集
89	長町南三丁目17-1	住宅建設	平成6年7月15日～11月18日	30m ²	縄期末期の木臼跡、近畿の水塚、繩文時代後期・後期住居の自然地盤層など	第203集
90	長町南四丁目3	駅施設整備 保存施設建設	平成6年10月3日～10月19日 11月17日～12月26日	416m ²	旧石器時代の樹木群など 中世・平安・古墳時代の水正跡	
91	長町南一丁目208-1	共同住宅建設	平成6年10月12・14日	5m ²	断面観察のみ、水田土壤と考えられる第12层確認	木書

平成6年度 富沢遺跡調査一覧

2. 試掘調査一覧

*は平成5年度届出・通知

No.	遺跡名	担当者	実施日	受付番号	結果	備考
1	山口遺跡	結城	5/24	*	113 遺構・遺物なし	
2	神明社裏遺跡	篠原	11/24	*	248 遺構・遺物なし	
3	相ノ原遺跡	結城	5/16	*	250 遺構・遺物なし	
4	砂押Ⅱ遺跡	篠原	4/11	*	251 遺構・遺物なし	
5	人来田B遺跡	篠原	6/29	3	遺構・遺物なし	
6	富沢清水遺跡	結城	6/28	25	遺構・遺物なし	
7	陸奥国分尼寺跡	篠原	7/4	45	版築状遺構	7/4~5 本調査
8	山口遺跡	篠原	6/22	48	遺構・遺物なし	
9	貴富祢遺跡	篠原	6/27	50	溝跡1条	
10	人来HI遺跡	結城	8/23	61	遺構・遺物なし	
11	茂ヶ崎城跡	篠原	7/11~13	66	基礎地業跡	
12	長町南遺跡	篠原	7/19	68	遺構・遺物なし	
13	富沢遺跡	篠原	7/26	78	遺構・遺物なし	
14	安養寺配水場窯跡	篠原	12/21	81	窯跡の灰原、須恵器 平成8年度木調 平瓦	査予定
15	野川遺跡	篠原	12/7・8	89	遺構・遺物なし	
16	堤町瓦窯跡	篠原	8/3	100	遺構・遺物なし	
17	内城I遺跡	篠原	12/19・20	105	Tピット1基	
18	梅塚古墳	篠原	11/4	128	周溝なし	
19	郡山遺跡	長島	1/9~12	146	平安時代の水田跡	
20	山田条里遺跡	篠原	11/14	147	遺構・遺物なし	
21	郷六遺跡	篠原	12/12	150	遺構・遺物なし	
22	上野遺跡	篠原	10/11	153	遺構・遺物なし	
23	上野遺跡	結城	11/28・29	162	遺構・遺物なし	
24	新坂下板碑群	篠原	12/1	170	遺構・遺物なし	
25	南小泉遺跡	篠原	11/28	175	堅穴住居跡、溝跡	平成8年度木調 査予定
26	館・新庄・上河原遺跡	篠原	3/8~23	187	堅穴住居跡、溝跡、 上部器、須恵器	本調査
27	三神峯遺跡	篠原	12/15	198	土坑?1基	建設場所変更
28	上野遺跡	結城	2/24	215	遺構・遺物なし	
29	上野遺跡	篠原	1/10	225	遺構・遺物なし	
30	庄遺跡	結城	2/23	237	遺構・遺物なし	
31	上野遺跡	篠原	3/8	245	遺構・遺物なし	

3. 本調査報告

富沢遺跡第91次調査

1. 調査地点 仙台市太白区長町南一丁目208-1

2. 調査期間 平成6年10月13・14日

3. 調査面積 6 m²

4. 調査員 太田昭夫

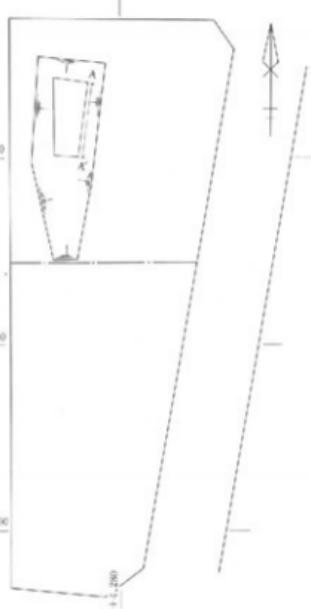
5. 調査の概要

店舗付共同住宅建築に伴う発掘調査である。調査については、敷地面積および計画されている建物面積が狭く、また、区画整理時の盛土が厚いことなどもあり、安全確保のために平面調査は行わず、土層断面観察のみの調査とした。そして、掘り下げは全て重機で行った。なお、調査地点は富沢遺跡第49次調査のNo.6地点（佐藤：1990）のすぐ東側に位置しており、土層の観察においては主に第49次調査の層序との比較・検討を行った。

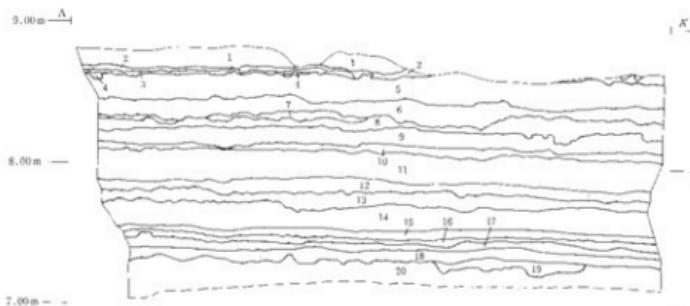
層序は盛土下から標高約7mまで計20層が確認された。各層の土性は1・2層が粘土質シルト、3～10層が粘土、11～19層は粘土か泥炭質粘土であり、下層になるにしたがい泥炭質の土層が多くなっている。そして20層で泥炭層が挟在する層となる。こうした層序は第49次調査の第5・6地点の層の状況と若干の差異はあるものの基本的には共通しており、大部分が対応関係をもつことが確認された。断面からは明瞭な畦畔状の高まりは確認されなかったものの、これらの層の中で、現代の耕作土の1層を除く2～6・8・10・12・13・15・18・19の各層において下面に細かな起伏が認められ、また、4・6・8・10・15・18



第1図 調査地点位置図



第2図 調査区平面図



第3図 基本層序セクション図

層序	土色	土壤	粘性	厚(㎜)	性質	他の層序
1	灰 (7.5Y4/1)	粘土質シルト	ややあり	15	現代の水田耕作土。下面に酸化鉄斑紋の集積あり。	1
2	灰 (10Y4/1)	シルト	シルト	4	水田耕作土? 層中に酸化鉄斑紋を多く含んでいる。下面の堅物地盤。	2
3	黒 褐色 (2.5Y3/1)	粘土	あり	4	水田耕作土? 上面の一部に酸化鉄斑紋の集積あり。下面の堅物地盤。	3 a
4	黒 (10YR2/1)	シルト	シルト	3	水田耕作土? 部分的に分布。黒灰色のメッシュが多く含む。	3 b
5	黒 褐色 (2.5Y6/1)	シルト	シルト	20	水田耕作土? 腐葉は完実している。層の下部から下部にかけてメッシュ状の黑色鉄斑紋を全般に含む。酸化鉄斑紋は、下部に多くある。	4 a
6	黄 灰 褐色 (2.5Y4/1)	粘土	強粘性	10~15	水田耕作土? 酸化鉄斑紋を横状に含む。下部に深い黄色のメッシュが複数ある。下部の起伏、調査。	4 c
7	紅 赤 黄 褐色 (2.5Y6/3)	シルト	シルト	4~8	自然堆積? 酸化鉄斑紋を横状に含む。	
8	黄 褐色 (2.5Y4/1)	シルト	シルト	6~20	水田耕作土? 層中に灰褐色の粘土質シルトが多く含む。酸化鉄斑紋下部に近い部分に発達。下面堅物地盤。	5 a
9	褐 褐色 (2.5Y3/1)	シルト	シルト	12	自然堆積。互層をなす。	6 a
10	褐 灰 褐色 (10YR4/1)	シルト	シルト	6	水田耕作土? 酸化鉄斑紋は少く含む。層中に下層の小ブロックが多く含む。下部堅物地盤。	6 b
11	黑 褐色 褐色 (10YR1.7/1)	泥炭質粘土	ややあり	20	自然堆積。互層をなす。層厚はそれだけ異なる。細かなテクスチャをなす所もあり。	8 b
12	灰 褐色 褐色 (2.5Y5/2)	粘土	あり	10	水田耕作土? 下部軟化あり。	8 c
13	褐 灰 褐色 (2.5Y4/2)	シルト	シルト	6~12	水田耕作土? 下部起伏あり	9 a
14	黑 褐色 褐色 (2.5Y2/1)	泥炭質粘土	ややあり	20	自然堆積層。互層をなす。上部は細かいアントラクタ状をなす。植物遺体含む。	10 a
15	黑 褐色 褐色 (2.5Y4/1)	粘土	あり	6	水田耕作土? 下部の小ブロックを少し含む。植物遺体含む。	10 b
16	黑 褐色 褐色 (2.5Y4/2)	シルト	シルト	6	自然堆積? 互層をなす部分とブロック状に変遷する部分がある。植物遺体含む。	10 c
17	灰 褐色 褐色 (2.5Y4/2)	シルト	シルト	6	自然堆積層。層中に深い黒褐色の膠土層を含む。植物遺体含む。	10 c
18	灰 褐色 褐色 (10YR4/2)	シルト	シルト	8	水田耕作土? 下部の小ブロックを含む。	10 d
19	黑 褐色 褐色 (10YR3/2)	泥炭質粘土	ややあり	10	水田耕作土? 下部に堅物地盤。全体に下層ブロックを多く含む。植物遺体含む。	11
20	灰 褐色 褐色 (2.5Y6/2)	泥炭質粘土	ややあり	30以上	自然堆積? 互層をなす。(灰褐色の泥炭質粘土主体)、層内側の薄い層もブロック状に接着する。植物遺体含む。	12 b

・19の各層において下部に直下層を起源とする細かなブロックが混在する状況が認められた。これらの下面の細かな起伏と、下部の直下層を起源とするブロックの存在は、水田跡の水田耕作土によく認められる特徴でもある（東日本の水田跡を考える会：1990）。また、上記の層と対応する第49次の各層でも同様の層の特徴とプラント・オパール分析結果などから、水田耕作土の可能性が考えられている。これらのことから、上記の各層も同じように水田耕作土の可能性が高いものと考えられる。

なお、層の所属年代であるが、5層については層中に10世紀前半に降下したと考えられている灰白色火山灰が含まれており、平安時代頃と考えられる。その他の層では富沢遺跡北部A地区における層の対応関係からみると（佐藤甲二他：1991）、2・3層は近世、12層以下は弥生時代と推定される。

参考文献

- 佐藤甲二（1990・3）：「富沢遺跡第49次・東光寺遺跡第3次・青葉山A遺跡」『仙台市文化財調査報告書』第142集 仙台市教育委員会
東日本の水田跡を考える会（1990・10）：『第3回 東日本の水田跡を考える会－資料集－』
佐藤甲二（1991）：「富沢・泉崎浦・山口遺跡(3)－富沢遺跡第57～68次・山口遺跡第13・14次発掘調査報告書」『仙台市文化財調査報告書』第152集 仙台市教育委員会

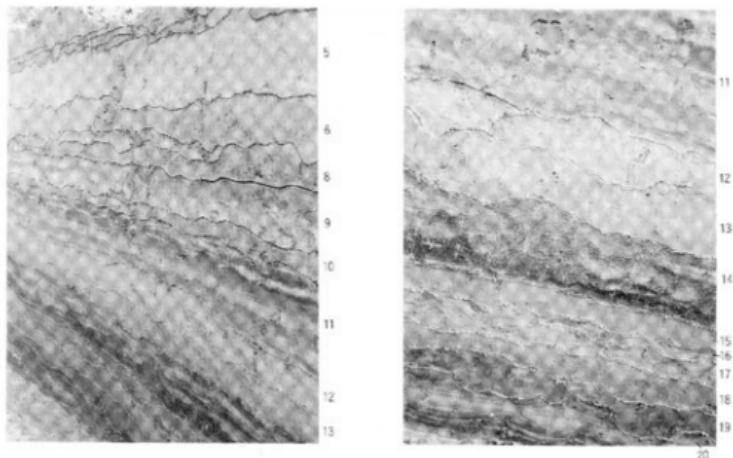


写真 東壁セクション

4. 分析報告

(1) 富沢遺跡第83次調査における放射性炭素年代測定結果

古環境研究所

富沢遺跡83次調査から出土した試料について年代測定を行った。その結果を次表に示す。なお、年代値は1950年よりの年数(B.P.)である。

年代値の算出には ^{14}C の半減期としてLIBBYの半減期5570年を使用している。また、付記した誤差は β 線の計数値の標準偏差 σ にもとづいて算出した年数で、標準偏差(ONE SIGMA)に相当する年代である。また、試料の β 線計数率と自然計数率の差が 2σ 以下のときは、 3σ に相当する年代を下限の年代値(B.P.)として表示してある。また、試料の β 線計数率と現在の標準炭素(MODERN STANDARD CARBON)についての計数率との差が 2σ 以下のときは、Modernと表示し、 $\delta^{14}\text{C}\%$ を付記してある。

表 富沢遺跡83次調査出土試料の放射性炭素年代測定結果

試料No.	出土地点	種類	年代順	コードNo.
1号河川跡堆積土⑤層	木片	7020±110 (B.C. 5070)	Gak-17542	



〔資料採集狀況〕

1号河川跡は、第83次調査、基本層34層上面にて検出した。断面でのみ観察され、深さ1.5m、幅は不明である。堆積土は6層にわけられ、堆積土②・④・⑤層からは多量の植物遺体が出土した。特に堆積土⑤層は腐植土層で、樹木片、種子、昆虫が出土している。放射性炭素年代測定資料は、この堆積土⑤層出土の木片である。

上層の基本層29層には、B.P.5,500年と推定される火山灰が含まれることより、1号河川の年代はこれより古いものと考えられた。なお、南に隣接する第52次調査区で基本層とした30・31層は、層相及び標高の類似性よりこの1号河川跡の堆積土の可能性がある。

(2) 濱不動尊文永十年板碑について

広瀬町の濱不動尊の境内に鎌倉時代中期、文永十（1273）年の板碑がある。当初は付近の藪の中にあったのを境内に移し立てたといわれているので、原位置は動いているものと思われる。この板碑を最初に紹介したのは松本源吉で、昭和16年に発表した「陸前宮城郡の古碑」（『佛教考古学論叢』東京考古学会）において、写真入りで簡単に紹介している。

石材は石巻市稻井産の粘板岩を使用している。石質はやや軟らかく全体的に風化しており、頂部は剥落している部分もみられる。大きさは台石から上に出ている部分の高さは175cmである。頂部の幅は29cmで厚さは21cm。中央部の幅は31cmで厚さ20cm。基部の幅は30cmで厚さは16cmある。高さがあるわりには幅が狭いので全体は細長い長方形を呈している。頂部は左斜めになっているが、故意に整形したというよりも石材を切り出した時のままで、後から特別に整形していないようである。碑面は節理面で平滑に磨いて調整されている。左右の側線は直線的で、その側面は大きく削り取られた剝離面で、裏面は節理面のままである。

種子は碑面の上部にあり、中央に大きく「キリ・ク」（阿弥陀如来）、その向かって左下に小さく「サク」（勢至菩薩）、右下に「サ」（觀音菩薩）があり、それらは阿弥陀三尊をあらわしている。種子の彫り方は薬研彫りで、工具痕はそれぞれの面に並行な鑿痕が観察でき、武線もはっきりみえる。種子は月輪^{ムツノリ}に入っており、それぞれ薬研彫りの蓮台^{ルンガイ}に乗っている。阿弥陀三尊種子の上部には華形の天蓋^{テンカイ}があり、4連の要略^{ヨウロク}が垂れ下がって莊嚴^{ショウゲン}されている。

偈頌は碑面の中央に4行あり、1行は5文字である。右から「念阿弥陀佛・即念一切佛・前證一心如・无二無差故」とある。読み下しは「阿弥陀佛を念ずれば、即ち一切の佛を念ず。證す一心は、二つなく差なきが如き故なり」となる。この偈頌の出典は加藤政久氏によれば、前の一句は『往生要集』からであるが、後の二句の出典はまだ解明されていないという（『石仏偈頌許典』国書刊行会 平成2年）。偈頌の周囲には割り付け用の細い線がみられる。

銘文は碑面の下部に3行みられる。中央に「文永十年癸酉八月廿四日」と紀年号があり、その下に「敬白」とある。干支と敬白は割り書きになっている。右側は「右志者為過去兵衛太郎滅罪」、左側は「生善往生極樂大菩提也」と願文がみられ、兵衛太郎という人物の極樂往生を願って造立された追善供養の板碑であることがわかる。

板碑の基部は新しい台石の中に嵌め込まれている。台石は安山岩の丸い礫で、向かって左側に「昭和十一年十一月十八日・濱町一心會」と彫られている。

仙台市内で文永年間に造立された板碑は6基あり、濱不動尊板碑は仙台最古の柳生字北にある文永十年二月の板碑に次いで古く、宮城県内でも初発期の板碑に入るものである。また、天蓋・月輪・蓮台などで種子を莊厳し、偈頌を彫っている丁寧な造りの文永年間の粘板岩製板碑は仙台市内では他に類例がなく非常に貴重なものである。平成6年3月29日仙台市指定有形文化財に指定。

（宮城いしぶみ会会員 石黒伸一朗）



5. 遺跡の登録・範囲変更

平成6年度は2遺跡の新規登録と2遺跡の範囲変更を行った。

- (1)一塚古墳（仙台市太白区文化財分布地図番号62）01092（C-006）

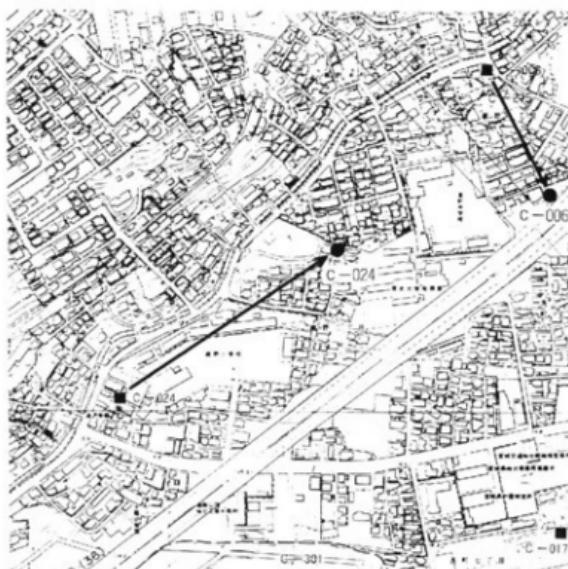
所在地 仙台市太白区鹿野一丁目

概要 旧地名、地籍図等との照合、再調査により原位置が確定されたことから。墳丘はすでに削平されている。旧状は円墳で、主体部は堅穴式石室で家型石棺。

- (2)二塚古墳（仙台市太白区文化財分布地図番号62）01093（C-024）

所在地 仙台市太白区鹿野二丁目

概要 旧地名、地籍図等との照合、再調査により原位置が確定されたことから。墳丘はすでに削平されている。旧状は主軸長30m程の前方後円墳と伝えられ、主体部は舟形石棺。



- (3)善応寺東横穴墓群（仙台市文化財分布地図番号21）01451（C-057）

所在地 仙台市宮城野区燕沢三丁目

概要 宮城県文化財保護地区指導員による当該地区的遺跡分布調査により、新発見された。

(4)小鶴一丁目塚（仙台市文化財分布地図番号21）01452（C-058）

所在地 仙台市宮城野区小鶴一丁目

概要 宮城県文化財保護地区指導員による当該地区的遺跡分布調査により、新発見された。



6. 原始古代村・旧石器の森整備事業

平成6年度は前年度完了した実施設計に基づいて、保存館建築工事、展示工事の発注が行われ、10月に着工、完成は平成8年3月である。概要は次のとおりである。

名 称	(仮称) 仙台市富沢遺跡保存館
建 築 場 所	太白区長町南4丁目3番
敷 地 面 積	14,879m ²
建 築 面 積	1,196m ²
建物延床面積	2,743m ²
構 造 階 数	鉄骨鉄筋コンクリート造、連壁地中壁杭、P H C 杭 地上1階 地下2階
建 物 建 築 費	1,398,225千円
展 示 工 事 費	79,722千円

IV 指定文化財一覧

1 国指定文化財

番号	名	種類	員数	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財/疎石物						
1	人跡八幡神社社殿 附 穏札1枚	1棟	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	S 27. 11. 22 (M36. 4. 15)	
2	大崎八幡神社長床	1枚	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	S 41. 6. 11	
3	陸奥國分寺彌陀堂 附 男子1基 穏札1枚	1棟	若林区木ノ下三丁目8-1	陸奥國分寺	M 36. 4. 15	
4	東照宮 木殿 唐門 透櫻 隅身門 烏居 附 男子1基 石灯籠34基 穏札1枚	5棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S 28. 3. 31 (S 55. 1. 26)	
有形文化財/彫刻						
5	木造釈迦如来立像	1体	青葉区八幡四丁目8-22	龍宝寺	M 36. 4. 1	
有形文化財/工芸品						
6	太刀	1口	青葉区川内龜岡町62	龜岡八幡神社	T 3. 4. 1	
7	小紋染桐箪	1箇	青葉区川内三の丸路	仙台市	S 53. 6. 15	
8	黒漆五枚桐風呂足 宮・小具足付 (伊達政宗所用) 附 黒漆地沙羅織紋山吹文陣革襷 1箇 唐	1箇	青葉区川内三の丸路	仙台市	S 54. 6. 6	
9	漆伊予札白糸成桐丸其足 宮・小具足付	1箇	青葉区川内三の丸路	仙台市	S 54. 6. 6	
10	香 (三沢初子所用) 附 施華了製2枚 入日記 (正徳2年1月) 1通	12枚	青葉区川内三の丸路	仙台市	H 3. 6. 21	
有形文化財/書跡						
11	国宝 類聚国史表第二十五	1巻	青葉区川内1-1	国(東北大学)	S 27. 11. 22	
12	国宝 史記(李本寧記稿)	1巻	青葉区川内1-1	同(東北大学)	S 27. 11. 22	
有形文化財/考古資料						
13	猪輪甲 猪輪甲残闕 猪輪甲残	2枚	青葉区平二丁目1-1	国(東北大学)	S 34. 6. 27	
14	陸前国沼津貝塚出土品	1活	青葉区平二丁目1-1	国(東北大学)	S 38. 7. 1	
有形文化財/歴史資料						
15	慶長御使船関係資料	1冊	青葉区川内三の丸路	仙台市	S 33. 3. 24 (S 41. 6. 11)	
16	坤輿萬国全圖(板本) 附 坤輿萬国全圖(着色)	6枚	宮城野区福ヶ谷5	宮城県(国貴族)	H 2. 6. 29	
無形民俗文化財						
17	秋保の田植踊		太白区秋保町湯元 太白区秋保町長榮 太白区秋保町馬場	湯元の田植踊保存会 長榮の田植踊保存会 馬場の田植踊保存会	S 51. 5. 4	
記念物/史跡						
18	陸奥國分寺跡		若林区木ノ下二丁目、三丁目	仙台市	T 11. 10. 12	
19	陸奥國分尼寺跡		若林区白森町	仙台市	S 23. 12. 18	
20	林子半墓		青葉区子平町10-5	仙台市	S 17. 7. 21	
21	逸見塚古墳		若林区逸見塚1-丁目1-2	仙台市	S 13. 11. 8	
22	岩切城跡		宮城野区岩切字入山2-2	仙台市 利府町	S 57. 8. 23	
記念物/名勝						
23	秋保大湊		太白区秋保町馬場字大湊地内	仙台市	S 17. 3. 7	

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
24	番司		太白区秋保町大字馬場字馬場谷山内	仙台市 鳥林谷(仙台宮林署)	S20. 2.22
記念物/天然記念物					
25	苦竹のイチゴウ		宮城野区根吉町一丁目	永野らと(仙台市)	T15. 10. 20
26	鶴鱗ウメ		若林区古城二丁目	法務省(宮城県法務省)	S17. 9. 19
27	青葉山		青葉区青葉字青葉裏12番地の内	文部省(東北大)	S47. 7. 11
28	碧流		太白区秋保町馬場字馬場岳山	農林省(仙台宮林署)	S 9. 8. 9
29	東昌寺のマルミガヤ		青葉区青葉町8-1	東昌寺	H 7.3.20

2 《県指定文化財》

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財/建造物					
1	白山神社木殿	1棟	若林区木ノ下二丁目9-1	白山神社	S30. 3. 25
2	源助神社本殿 明 梁札12枚	1棟	青葉区七手字牛宮下40	源助神社	S38. 7. 2
3	東照富士水槽 附 花崗岩海水量	1棟	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	S39. 9. 4
4	賀茂神社本殿 附 梁札2枚	2棟	泉区古内字社1	賀茂神社	S39. 9. 4
5	浜台御靈堂 附 梁札1枚	1棟	太白区四郎丸子落合60	光秀寺	S44. 8. 29
6	大崎八幡神社石鳥居 附 無寄體	1基	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	S45.10.30
7	龜岡八幡神社石鳥居 附 無寄體	1基	青葉区川内龜岡町62	龜岡八幡神社	S45.10.30
8	宮城県知事公邸正門(旧仙台城門)	1棟	青葉区広瀬町5-43	宮城県	S46.11. 9
9	陸奥國分寺萬葉堂仁王門	1棟	若林区木ノ下二丁目8-1	陸奥國分寺	S50. 4. 30
10	旧仙台城板倉	1棟	宮城野区岩切三丁町北16	日野正一	S53. 5. 2
有形文化財/仏教					
11	桃島五大堂	1点	青葉区川内五糸町34-1	宮城県(美術館)	S48. 1. 16
12	松高岡	1点	青葉区里内元貢34-1	青城尊(美術館)	S48. 1. 16
13	宮城県府門前園	1点	青葉区川内元貢34-1	青城県(美術館)	S48. 1. 16
14	清海晏寺茶室 附 清淨圓寺茶室記銘小書	1枚	若林区新寺三丁目10-12	成寛寺	S49. 4. 30
15	仙台城本丸大庭御壁門脇御廻廊	2双	青葉区川内三丁目跡	仙台市	H 5.12.24
有形文化財/彫刻					
16	木造十二神持立像	12點	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥國分寺	S34. 8. 31
17	木造阿弥陀如来立像	1點	泉区荒岡字阿弥陀前23	早慶忠心	S40. 5. 18
18	木造聖観音像	1點	若林区新寺三丁目10-12	成寛寺	S49. 4. 30
19	木造不動明王立像	1點	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥國分寺	S30. 4. 30
20	木造毘沙門天立像	1點	若林区木ノ下二丁目8-28	陸奥國分寺	S30. 4. 30
21	木造十一面觀音立像	1點	泉区高森五丁目17-3	菊谷美津子	S51. 3. 29
22	木造阿弥陀如来立像	1點	若林区新寺三丁目5-3	阿弥陀寺	S55. 5. 30
有形文化財/工芸品					
23	「鎌刀」	1口	青葉区中央一丁目3-24	木斯栄一郎	S34. 8. 31
24	太刀	1口	太白区安木町32-17	中川 高	S34. 8. 31
25	刀	1口	太白区岸岸町3-10	大竹左右吉	S34. 8. 31
26	刀	1口	青葉区大町二丁目9-13-704	佐藤太志	S34. 8. 31
27	刀	1口	太白区桜木町32-17	中川 高	S34. 8. 31
28	短刀	1口	太白区根岸町3-10	大竹左右吉	S34. 8. 31
29	劍鍼	1口	泉区山の手二丁目3-1	洞雲寺	S37. 6. 28
30	劍鍼	1口	青葉区靈巖町23-3	瑞鳳寺	S37. 6. 28

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
無形文化財					
31	織姫仙台平太郎		太白区根岸町15-5	甲田綾郎	S31. 3.29
無形民俗文化財					
32	愛子の田植踊		青葉区下愛子	愛子の田植踊保存会	S35. 4.23
33	大倉の投入田植踊		青葉区大倉	大倉の投入田植踊保存会	S35. 4.23
34	新川の田植踊		青葉区新川	新川の田植踊保存会	S35. 4.23
35	手沢の田植踊		青葉区手沢	手沢の田植踊保存会	S35. 4.23
36	下倉の田植踊		青葉区下倉	下倉の田植踊保存会	S46. 8. 3
37	大船八幡神社の能津楽		青葉区八幡	大船八幡神社の能津楽保存会	S47. 10.11
38	野口夷踊		太白区秋保町馬場	野口夷踊保存会	S47. 10.11
39	川前夷踊・川前劍舞		青葉区手沢	川前夷踊・川前劍舞保存会	S48. 11. 6
40	福岡の夢蒲・剣舞		泉区福岡	福岡夢蒲・剣舞保存会	H 3. 8. 20
41	荒原の獅子舞		太白区秋保町馬場	荒原の獅子舞保存会	H 3. 8. 20

3 《市指定文化財》

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
有形文化財 運動物					
1	青光寺開山堂	1棟	宮城野区兼沢二丁目3-1	青光寺	S43. 2.15
2	旧第四連隊兵舎	1棟	宮城野区五輪一丁目3-7	仙台市	S53. 6.16
3	附伊達邸	1棟	太白区茂庭字人来東西143-3	仙台市	S58. 12. 1
4	大手寺惣門	1棟	太白区及ヶ崎四丁目	仙台市	S66. 9. 4
5	成宣寺山門(旧淨御院邸山門)	1棟	若林区新寺三丁目10-12	成宣寺	S61. 12. 20
6	森敷寺山門	1棟	青葉区新坂町12-1	正觀寺	S61. 12. 20
7	輪寺山門	1棟	青葉区北山一丁目6番街	輪寺	S61. 12. 20
8	大廣寺虚空蔵院 附 扉子1基	1棟	太白区向山四丁目17-1	大廣寺	S62. 3. 30
9	大願寺山門(旧方舟院殿重宗門)	1棟	青葉区新坂町7-3	大願寺	S62. 3. 30
10	參心院山門(旧仙山善祐菴賢益翁門)	1棟	若林区新宿町109	參心院	S62. 3. 30
11	守部御寺社本殿 舞 捷札5枚	1棟	青葉区字浜寺守部12	守部御寺社	S47. 12. 27
12	勝清院境内財天狹翁ひの寺地	1棟	青葉区勝清院	千田定旅ほか	S62. 9. 11
13	小遣洲橋	1橋	太白区秋保町馬場字駅	仙台市	S58. 8. 1
14	旧施合家作室	1棟	泉区福島字山19-5	仙台市	S61. 4. 1
15	石造家作社	1棟	宮城野区福浦町一丁目15-1	仙台市	S 6. 3.29
財 上棧(木蔵) 1棟					
有形文化財 織物					
16	紙本着色伊達政宗肖像	1幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S44. 7.31
17	狩野探幽筆	2隻	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S31. 7. 1
18	鶴鳴ケ糸花翠岡舞風	6曲	青葉区川内三の丸跡 平双	佐々木美知子 大平 千枝子	S31. 7. 1
19	菅井梅開水牛芋園	1幅	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S31. 7. 1

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定月日
20	仙台城旧本丸二ノ丸御殿御内三 北本著色芭図(2面屏風) 北本金地著色花木図 北本金地著色松に山鳥図 東東洋筆	1双 6面 1面	青葉区角内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
21	仙台藩主代主及夫人肖像画	31幅	青葉区角内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
22	朝本著色芭図、牡丹、芙蓉図 伊達義宗筆	3幅	青葉区角内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
23	北本著色河原之図 東東洋筆	1幅	青葉区角内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
24	鰐板油彩彫しみのマリア像	1面	青葉区角内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
25	瀬戸八景図 雪村周延筆	6幅	青葉区角内三の丸跡	仙台市	II 7. 3.23
26	大牛寺山真景図 佐藤久徳筆	1面	青葉区角内三の丸跡	佐々木美知子 大平 千枝子	II 7. 3.23
有形文化財／彫刻					
27	木造秋葉如意坐像	1躯	青葉区北山一丁目14-1	輪王寺	S51. 7. 1
28	木造秋葉如意坐像	1躯	青葉区茂庭宇御木森山4	大樹寺	H 2. 3.19
29	木造毘沙門天立像	1躯	青葉区茂庭宇御木森山4	大海寺	H 2. 3.19
30	木造安置上人坐像	1躯	若林区土師一丁目11-16	真福寺	H 2. 3.19
31	宝冠秋葉如意坐像	1躯	青葉区国見一丁目15-1	壽徳寺	H 2. 3.19
有形文化財／工芸品					
32	網透茶器十二種模様掛軸	1面	若林区木下二丁目8-1	雄奥園分寺	S51. 7. 1
33	梵鏡	1枚	太白区向山四丁目8-1	大乘寺	S52. 3. 1
34	物台藤原代作上所御足尾	11幅	青葉区角内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
35	墨瓶 伊達政宗所用 白隣地電光立高淨模様羽衣 白絹地小袖 墨半綾地直垂 青絹羽板地五色水玉模様藤原羽織 袴 大口袴 錦底唐草文柄に朱絵入野袴 白底地鶴頂口袴	1具 1領 1領 1領 1領 1領 1領 1条	青葉区角内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
36	孔雀羽羽根嵌入障子屏風(伊達義宗所用)	1張	青葉区角内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
37	茶杓 仙台藩主代作 伊達政宗作1筒 伊達忠宗作2筒 伊達義宗2筒 伊達義宗作7筒 伊達吉村作36筒 仙台藩主作7筒 (以上茶杓量筒入り) 伊達忠宗作1筒	61筒	青葉区角内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
38	仙台城旧本丸御殿金箔 魚々子地前脱脱羽織 魚々子地前脱脱羽織	2幅	青葉区角内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
39	花鳥山水孔雀羽羽根嵌入障子屏風 元禄貳己卯石村正山守忠貞二月 吉日の路がある 附 黒漆地竹根鷲毛荷葉翠光 1枚	1面	青葉区角内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
有形文化財／書籍					
40	黒岩昇月墨跡二編2	3幅	青葉区茂庭宇御木森山4	大樹寺	S51. 7. 1
有形文化財／古文書					

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
41	印草 仙台幕臣代蔵主所用	227 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
42	伊達治家記録(仙台市博物館本)	696 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
43	伊達世臣家譜及続編(仙台市博物館本)	268 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
44	伊達出自正統世次考(仙台市博物館本) 伊達出自正統世次考首巻 1 冊 伊達出自正統世次考 9 卷 9 冊 伊達正統良次考 10 収 14 冊 伊達出自正統世次考系図 1 冊 附 諸代々考考證 疎佐好生墨 10 冊	25巻	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
45	奥州仙台城跡図 「此御跡圖考、正保年中被信上松御御説國、元 稿十年從公義御拜借得成、御本被成御跡圖抄 古吉被仰付御御跡圖也」の裏書きがある	1 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
46	林子平著草本銅版画 附 六集草薙鉢 1 冊	8 枚	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
47	文食家文書	一括	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
有形文化財/考古資料					
48	伊達政宗墓所出土品 糸巻大刀刃 1 口・糸巻大刀鞘 1 套・黒漆萬葉 絵文箱 1 台・百鑑付文箱(文箱内容品) 1 点・ 墨(文箱内容品) 1 抹・黒漆白梅地松箱 1 台・ 翠地菊頭御紋鏡 1 口・蝶入(翠箱内容品) 1 点 ・墨(翠箱内容品) 1 抹・硯(翠箱内容品) 1 面・水波(翠箱内容品) 1 点・翠地螺管簪 1 台 ・巻管墨 1 口(巻管内容品) 2 点・翠地菊頭御 紋鏡 1 口・皮袋 1 点・腰長一分多(皮袋内容品) 3 枚・拂丙用冠石(皮袋内容品) 1 点・金製ブ ーフ(皮袋内容品) 1 点・疊瓦(皮袋締縫) 1 点・銀製装飾品 1 点・円鏡 1 点・石接 2 点・ 紫用藤茶板 5 枚・斐紋金製茶板 1 枚・金具一組 ・瓶灰 1 枚	35	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S60. 9. 4
49	成安刑土器 上ノ原演跡出土	1 件	仙台市青葉区田町三丁目 7-1	仙台市	H 6. 3. 29
50	伊吉山遺跡出土上鏡	1 件	仙台市青葉区国分町三丁目 7-1	仙台市	H 6. 3. 29
51	戸ノ内城跡方形周溝墓出土土器	2 件	仙台市青葉区国分町三丁目 7-1	仙台市	H 6. 3. 29
有形文化財/歴史資料					
52	瀬戸張	1 枚	青葉区桜ヶ丘公園 1-1	仙台市	S45. 2. 23
53	皇限表	1 枚	青葉区桜ヶ丘公園 1-1	仙台市	S45. 2. 23
54	天理表	2 枚	★青葉区桜ヶ丘公園 1-1	仙台市	S45. 2. 23
55	鹿井集(村田本)	1 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S51. 7. 1
56	清宗公采地下脚跡	2 冊	青葉区川内三の丸跡	仙台市	S51. 7. 1
57	芦葉山碑	1 基	若林区木ノ下二丁目 70	陸奥国分寺	S51. 7. 1

番号	名 称	員数	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
58	大庭瓦工場供養碑	1基	若林区木下ノ丁目70	陸奥國分寺	S51. 7. 1
59	巴町勾牌	1枚	宮城野区櫛ヶ崎23	福岡天神社	S52. 3. 1
60	岸町苦竹の道標のべ石	1基	宮城野区東町二丁目	仙台市	S52. 3. 1
61	慶不動尊文末午年板碑	1基	青葉区広瀬町8-1	原町むつみ会	H 6. 3. 29
有形民俗文化財					
62	上野十三塚	13基	太白区序沼字上前43番地のうち 1,425㎡の土地を含む	小池政次郎	H 2. 3. 19
63	源賴政邊防回駆馬	1面	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H 4. 7. 7
64	牛若丸道修行回駆馬	1面	太白区向山四丁目17-1	愛宕神社	H 4. 7. 7
65	小村景昇乗馬回駆馬	1面	太白区西郎丸字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
66	曳馬回駆馬	1面	太白区西郎丸字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
67	宇治川左津回駆馬	1面	太白区西郎丸字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
68	金網板押川三重塔駆馬	1面	太白区西郎丸字落合59	光西寺	H 4. 7. 7
無形民俗文化財					
69	馬場愛宕神社御幸		太白区秋保町馬場	馬場愛宕神社御幸保存会	S61. 8. 1
70	上谷丸の更踊・劍舞		泉区古内	上谷丸の更踊・劍舞保存会	S39.10.21
71	大沢の田植踊		泉区京ヶ丘	大沢の田植踊保存会	S62. 8. 1
72	柳流青鹿神幸		宮城野区岩切字青鹿沢	柳流青鹿神幸保存会	H 3.10. 1
73	生出森八幡神幸		太白区麻町字中ノ森西	生出森八幡神幸保存会	H 3.10. 1
史跡					
74	善光寺横穴古墳群		宮城野区森北二丁目	善光寺	S43. 2. 15
75	二沢初子の墓など		宮城野区横ヶ岡五丁目4	仙台市	S47. 2. 1
76	刀工本郷園包代の墓所		若林区新寺二丁目7-33	善光寺	S55.10.20
77	経ヶ峯伊達家墓所		青葉区経ヶ峰上	仙台市ほか	S59. 7. 21
78	西昌跡		青葉区下愛子字下郎	沢口富蔵	S50.12.11
79	鶴六試跡		青葉区鶴六字庄子	安瀬久雄ほか	S50.12.11
80	武松院墓所		泉区横白石字旗下	萬葉寺	S43. 3. 1
81	佐兵部頭塚跡		泉区南光台東二丁目35-8	仙台市	S62. 5. 1
天然記念物					
82	像屋下ニヨイタ類化石林		青葉区米袋一丁目、三丁目、農園下	宮城県	S48. 8. 6
83	大椿寺のヒヨキヒバ		青葉区茂庭字調木表山4	大椿寺	S52. 3. 1
84	菅(かんざし)屋		青葉区下愛子字町25-1	庄子善院	S61. 5. 30
			青葉区上愛子字上原80	庄子善院	
85	泉ヶ丘のミズバシウジにか樹性植物群生地		泉区福栄字岩山	仙台市	S40. 5. 12
86	鷺谷井枝の神杉(桃杉)		泉区鷺原字小山17	鷺谷井枝	S60. 4. 25
87	實茂井枝のイマハナミジ		泉区古内字丸1	實茂井枝	S60. 4. 25
88	實茂神社のタツタケ		泉区古内字丸1	實茂神社	S60. 4. 25
89	實茂神社のアラカシ		泉区古内字丸1	實茂神社	S60. 4. 25

文化財調査員録

課長白鳥良一	主任吉岡恭平	調査第二係
管理係	〃工藤哲司	係長結城慎一
係長千葉晴洋	〃浜光朗	主任篠原信彦
主任村上道子	〃工藤信一郎	〃佐藤甲二
主任福井健司	〃佐藤淳	主任波部弘美
〃相沢希世美	〃渡部紀	〃斎野裕彦
〃佐藤美弥子	教諭佐藤好一	〃荒井格
〃齋藤英治	〃小川淳一	〃中富洋輔
	〃五十嵐康洋	〃平間亮輔
調査第一係	〃赤澤靖章	教諭太田昭夫
係長田中則和	〃高橋綾子	〃神成浩志
主任杏木村浩二	〃川名秀一	〃竹田幸司
主任金森安孝	〃熊谷裕行	〃三塚靖

仙台市文化財調査報告書刊行目録

- 第 1集 天然記念物盡屋下セコイア化石林調査報告書（昭和39年1月）
- 第 2集 仙台城（昭和42年3月）
- 第 3集 仙台市燕沢善光寺城内古墳群調査報告書（昭和43年3月）
- 第 4集 史跡陣営園分尼寺跡環境整備並びに調査報告書（昭和44年3月）
- 第 5集 仙台市南小泉法鏡院古墳調査報告書（昭和47年8月）
- 第 6集 仙台市荒巻五本松墓地発掘調査報告書（昭和48年10月）
- 第 7集 仙台市宮沢町古墳発掘調査報告書（昭和49年3月）
- 第 8集 仙台市山愛宕山横穴群発掘調査報告書（昭和49年5月）
- 第 9集 仙台市根岸町宗守横穴群発掘調査報告書（昭和51年3月）
- 第 10集 仙台市中町安久東遺跡発掘調査概報（昭和51年3月）
- 第 11集 史跡遠見塚古墳環境整備予備調査概報（昭和51年3月）
- 第 12集 史跡遠見塚古墳環境整備第二次予備調査概報（昭和52年3月）
- 第 13集 南小泉遺跡一箱同認調査報告書一（昭和53年3月）
- 第 14集 築造跡発掘調査報告書（昭和54年3月）
- 第 15集 史跡遠見塚古墳（昭和54年3月）
- 第 16集 六反田遺跡発掘調査（第2・3次）のあらまし（昭和54年3月）
- 第 17集 北原敷遺跡（昭和54年3月）
- 第 18集 桥江遺跡発掘調査報告書（昭和55年3月）
- 第 19集 仙台市地下鉄閉鎖分布調査報告書（昭和55年3月）

- 第 20集 史跡遠見塚古墳昭和54年度環境整備予備調査概報（昭和55年3月）
- 第 21集 仙台市開発関係遺跡調査報告Ⅰ（昭和55年3月）
- 第 22集 稚ヶ峰（昭和53年3月）
- 第 23集 年報1（昭和53年3月）
- 第 24集 今泉城跡発掘調査報告書（昭和55年8月）
- 第 25集 三神峯遺跡発掘調査報告書（昭和55年12月）
- 第 26集 史跡遠見塚古墳昭和55年度環境整備予備調査概報（昭和56年3月）
- 第 27集 史跡陸奥國分寺跡史跡昭和55年度発掘調査概報（昭和56年3月）
- 第 28集 仁巣2（昭和56年3月）
- 第 29集 郡山遺跡Ⅰ－昭和55年度発掘調査概報（昭和56年3月）
- 第 30集 山田上ノ台遺跡発掘調査概報（昭和56年3月）
- 第 31集 仙台市開発関係遺跡調査報告Ⅱ（昭和56年3月）
- 第 32集 鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書（昭和56年3月）
- 第 33集 山口遺跡発掘調査報告書（昭和56年3月）
- 第 34集 六反田遺跡発掘調査報告書（昭和56年12月）
- 第 35集 南小泉遺跡－郡山計画街路建設工事関係第1次調査報告（昭和57年3月）
- 第 36集 北前野の遺跡発掘調査報告書（昭和57年3月）
- 第 37集 仙台平野の遺跡群Ⅰ－昭和56年度発掘調査報告書Ⅰ（昭和57年3月）
- 第 38集 郡川遺跡Ⅱ－昭和56年度発掘調査概報（昭和57年3月）
- 第 39集 薩沢遺跡発掘調査報告書（昭和57年3月）
- 第 40集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅰ（昭和57年3月）
- 第 41集 仁巣3（昭和57年3月）
- 第 42集 郡山遺跡－宇地造成に伴う緊急発掘調査（昭和57年3月）
- 第 43集 畦遺跡（昭和57年8月）
- 第 44集 鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書（昭和57年12月）
- 第 45集 斎庭－茂庭住宅用地造成工事地内遺跡発掘調査報告書Ⅰ（昭和58年3月）
- 第 46集 郡山遺跡Ⅲ－昭和57年度発掘調査概報（昭和58年3月）
- 第 47集 仙台平野の遺跡群Ⅱ－昭和57年冬季発掘調査報告書（昭和58年3月）
- 第 48集 史跡遠見塚古墳昭和57年度環境整備予備調査概報（昭和58年3月）
- 第 49集 仙台市文化財分布調査報告Ⅰ（昭和58年3月）
- 第 50集 岩切畑中遺跡発掘調査報告書（昭和58年3月）
- 第 51集 仙台市文化財分布地図（昭和58年3月）
- 第 52集 南小泉遺跡－郡市計画街路建設工事関係第2次調査報告（昭和58年3月）
- 第 53集 中田畠中浪跡発掘調査報告書（昭和58年3月）
- 第 54集 神明社裏跡発掘調査報告書（昭和58年3月）
- 第 55集 南小泉遺跡－青葉女子学園移転新営1号地内調査報告（昭和58年3月）
- 第 56集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅱ（昭和58年3月）
- 第 57集 年報4（昭和58年3月）
- 第 58集 今泉城跡（昭和58年3月）
- 第 59集 下ノ内浦遺跡（昭和58年3月）
- 第 60集 南小泉遺跡－倉庫建築に伴う緊急発掘調査報告書（昭和58年3月）
- 第 61集 山口遺跡Ⅱ－仙台市体育館建設予定地（昭和59年2月）
- 第 62集 燕沢遺跡（昭和59年3月）
- 第 63集 史跡陸奥國分寺跡昭和58年度発掘調査概報（昭和59年3月）
- 第 64集 郡山遺跡Ⅳ－昭和58年度発掘調査概報（昭和59年3月）
- 第 65集 仙台平野の遺跡群Ⅲ－昭和58年度発掘調査報告書（昭和59年3月）
- 第 66集 年報5（昭和59年3月）
- 第 67集 富田水田遺跡－第1回一泉崎前地区（昭和59年3月）
- 第 68集 南小泉遺跡－郡市計画街路建設工事関係第3次調査報告（昭和59年3月）
- 第 69集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅲ（昭和59年3月）
- 第 70集 戸ノ内遺跡発掘調査報告書（昭和59年3月）
- 第 71集 後河原遺跡（昭和59年3月）
- 第 72集 六反田遺跡Ⅱ（昭和59年3月）
- 第 73集 仙台市文化財分布調査報告書Ⅱ（昭和59年3月）
- 第 74集 郡川遺跡Ⅴ－昭和59年度発掘調査概報（昭和60年3月）
- 第 75集 仙台平野の遺跡群Ⅳ－昭和59年度発掘調査報告書（昭和60年3月）
- 第 76集 仙台城三ノ丸跡発掘調査報告書（昭和60年3月）
- 第 77集 山田上ノ台遺跡－昭和59年度発掘調査報告書（昭和60年3月）

- 第 78集 中田畠中遺跡－第2次発掘調査報告書－（昭和60年3月）
第 79集 欠ノ上工遺跡系発掘調査報告書（昭和60年3月）
第 80集 南小泉遺跡－第12次発掘調査報告書－（昭和60年3月）
第 81集 南小泉遺跡－第13次発掘調査報告書－（昭和60年3月）
第 82集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報N（昭和60年3月）
第 83集 年報6（昭和60年3月）
第 84集 仙台市文化財分布調査報告書III（昭和60年3月）
第 85集 宮城県仙台市愛宕山芸術横穴古墳発掘調査報告書（昭和60年8月）
第 86集 郡山遺跡V－昭和60年度発掘調査概報（昭和61年3月）
第 87集 仙台平野の遺跡群V－昭和60年度発掘調査報告書－（昭和61年3月）
第 88集 上野遺跡発掘調査報告書（昭和61年3月）
第 89集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報V（昭和61年3月）
第 90集 若林城跡－平安時代の集落跡（昭和61年3月）
第 91集 東北電力鉄塔関係測量調査報告書（昭和61年3月）
第 92集 五城中北窓跡発掘調査報告書（昭和61年3月）
第 93集 仙台市文化財分布調査報告書IV（昭和61年3月）
第 94集 年報7（昭和61年3月）
第 95集 柳生（昭和62年3月）
第 96集 郡山遺跡－昭和61年度発掘調査報告書－（昭和62年3月）
第 97集 仙台平野の遺跡群VI－昭和61年度発掘調査報告書－（昭和62年3月）
第 98集 宮沢遺跡（昭和62年3月）
第 99集 五木松窓跡発掘調査報告書（昭和62年3月）
第100集 山田上・台原掘開古帳報告書（昭和62年3月）
第101集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報VI（昭和62年3月）
第102集 六反田遺跡発掘調査報告書（昭和62年3月）
第103集 元炎Ⅲ遺跡発掘調査報告書（昭和62年3月）
第104集 富沢遺跡－東北地方建設局町官宿建設工事に伴う発掘調査報告書（昭和62年3月）
第105集 北前遺跡発掘調査報告書（昭和62年3月）
第106集 仙台市文化財分布調査報告書V（昭和62年3月）
第107集 年報8（昭和62年3月）
第108集 春日寺古墳・鳥居塚古墳発掘調査報告書（昭和62年8月）
第109集 南小泉遺跡－第14次発掘調査報告書－（昭和62年11月）
第110集 郡山遺跡Ⅳ－昭和62年度発掘調査概報－（昭和63年3月）
第111集 仙台平野の遺跡群VII－昭和62年度発掘調査報告書（昭和63年3月）
第112集 実光寺遺跡発掘調査報告書（昭和63年3月）
第113集 富沢遺跡第24次調査報告書（昭和63年3月）
第114集 富沢遺跡第25次調査報告書（昭和63年3月）
第115集 下ノ内浦遺跡発掘調査報告書（昭和63年3月）
第116集 焼沢遺跡（昭和63年3月）
第117集 富沢遺跡第33次発掘調査報告書（昭和63年3月）
第118集 富沢遺跡第34次発掘調査報告書（昭和63年3月）
第119集 菩崎南遺跡発掘調査報告書（昭和63年3月）
第120集 銀ヶ丘ニム・タクシ・間那遺跡調査報告書（昭和63年3月）
第121集 仙台市文化財分布調査報告書VI（昭和63年3月）
第122集 年報9（昭和63年3月）
第123集 湧ノ巣遺跡（平成元年3月）
第124集 郡山遺跡X－昭和63年度発掘調査報告書－（平成元年3月）
第125集 仙台平野の遺跡群X－昭和63年度発掘調査報告書－（平成元年3月）
第126集 富沢遺跡・草崎酒造跡－仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書I－（平成元年3月）
第127集 上野遺跡－電力鉄塔関係発掘調査報告書（平成元年3月）
第128集 富沢・泉崎組・山口遺跡－36～48次・4次・5～8次・（平成元年3月）
第129集 北前遺跡第3次発掘調査報告書（平成元年3月）
第130集 銀ヶ丘横穴墓群（平成元年3月）
第131集 南小泉遺跡－第15次発掘調査報告書（平成元年3月）
第132集 年報10（平成元年3月）
第133集 郡山遺跡X－平成元年度発掘調査概報－（平成2年3月）
第134集 仙台平野の遺跡群X－平成元年度発掘調査報告書－（平成2年3月）
第135集 富沢・山口遺跡(2)・富沢遺跡50～56次・山口遺跡10～12次－（平成2年3月）

- 第136集 下ノ内遺跡 仙台市高塙鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ- (平成2年3月)
- 第137集 茂庭けんとう城・東館跡発掘調査報告書 (平成2年3月)
- 第138集 人野田古墳群荒瀬青磐古墳 (平成2年3月)
- 第139集 木牛津遺跡発掘調査報告書 (平成2年3月)
- 第140集 南小泉遺跡-第16~18次発掘調査報告書 (平成2年3月)
- 第141集 南小泉遺跡-第19次発掘調査報告書 (平成2年3月)
- 第142集 東光寺・青葉山A・富沢遺跡 (平成2年3月)
- 第143集 年報11 (平成2年3月)
- 第144集 仙台城址の自然 (平成2年3月)
- 第145集 郡山遺跡-第84次・85次発掘調査報告書 (平成2年6月)
- 第146集 郡山遺跡Ⅳ-平成2年度発掘調査概報- (平成3年3月)
- 第147集 仙台平野の遺跡群Ⅹ-平成2年度発掘調査報告書- (平成3年3月)
- 第148集 湾ノ東遺跡第6次調査報告書 (平成3年3月)
- 第149集 富沢遺跡-第30次調査報告書第1分冊-織文・近世編- (平成3年3月)
- 第150集 富沢遺跡第35次発掘調査報告書 (平成3年3月)
- 第151集 山口遺跡 (平成3年3月)
- 第152集 富沢遺跡・泉崎浦・山口遺跡(3) (平成3年3月)
- 第153集 南小泉遺跡第20次発掘調査報告書 (平成3年3月)
- 第154集 熊沢遺跡第4・5・6・7次発掘調査報告書 (平成3年3月)
- 第155集 牛堀12 (平成3年3月)
- 第156集 郡山遺跡-65次発掘調査報告書 (平成4年3月)
- 第157集 杉土手・北前遺跡発掘調査報告書 (平成4年3月)
- 第158集 町田遺跡発掘調査報告書 (平成4年3月)
- 第159集 神橋遺跡発掘調査報告書 (平成4年3月)
- 第160集 富沢遺跡第30次発掘調査報告書第2分冊-旧石器編- (平成4年3月)
- 第161集 郡山遺跡Ⅺ-平成3年度発掘調査概報- (平成4年3月)
- 第162集 仙台平野の遺跡群Ⅺ-平成3年度発掘調査報告書- (平成4年3月)
- 第163集 富沢遺跡・泉崎浦・山口遺跡(4)-70次-79次-下ノ内遺跡第5次発掘調査報告書 (平成4年3月)
- 第164集 南小泉遺跡-21次発掘調査報告書 (平成4年3月)
- 第165集 土手内遺跡発掘調査報告書 (平成4年3月)
- 第166集 沼遺跡発掘調査報告書 (平成4年3月)
- 第167集 今報13 (平成4年3月)
- 第168集 大蔵寺廬跡発掘調査報告書 (平成5年3月)
- 第169集 郡山遺跡Ⅻ-平成4年度発掘調査報告書- (平成5年3月)
- 第170集 仙台平野の遺跡群Ⅻ-平成4年度発掘調査報告書- (平成5年3月)
- 第171集 富沢・泉崎浦・山口遺跡(5)-第78・80~85次発掘調査報告書 (平成5年3月)
- 第172集 富沢・泉崎浦・山口遺跡(6)-第57・58・63・66・69次発掘調査報告書 (平成5年3月)
- 第173集 下ノ内浦遺跡第5次発掘調査報告書 (平成5年3月)
- 第174集 安久東遺跡第3次発掘調査報告書 (平成5年3月)
- 第175集 潤賓亭遺跡発掘調査報告書 (平成5年3月)
- 第176集 牛堀14 (平成5年3月)
- 第177集 郡山遺跡-第94次発掘調査報告書- (平成6年3月)
- 第178集 郡山遺跡Ⅹ-平成5年度発掘調査概報- (平成6年3月)
- 第179集 仙台平野の遺跡群Ⅹ-平成5年度発掘調査報告書- (平成6年3月)
- 第180集 大倉地区遺跡範囲確認調査報告書 (平成6年3月)
- 第181集 北京街道B遺跡発掘調査報告書 (平成6年3月)
- 第182集 中田南遺跡発掘調査報告書 (平成6年3月)
- 第183集 仙台東延条里跡発掘調査報告書 (平成6年3月)
- 第184集 富沢・泉崎浦・山口遺跡(7)-富沢遺跡第87次発掘調査報告書 (平成6年3月)
- 第185集 今泉遺跡第3次発掘調査報告書 (平成6年3月)
- 第186集 昭和北遺跡発掘調査報告書 (平成6年3月)
- 第187集 爱宕山横穴墓群 第3次発掘調査報告書- (平成6年3月)
- 第188集 元賀遺跡第2次発掘調査報告書 (平成6年3月)
- 第189集 牛堀15 (平成6年3月)
- 第190集 高柳遺跡調査報告書 (平成7年3月)
- 第191集 下飯田遺跡発掘調査報告書 (平成7年3月)
- 第192集 南小泉遺跡第22・23次発掘調査報告書 (平成6年10月)
- 第193集 伊吉田遺跡-仙台山高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅲ (平成7年3月)

- 第194集 郡山遺跡X V - 平成6年度発掘調査概報 (平成7年3月)
第195集 仙台平野の遺跡群X N - 平成6年度発掘調査報告書 (平成7年3月)
第196集 南小泉遺跡第25次発掘調査報告書 (平成7年3月)
第197集 北目城跡発掘調査報告書 (平成7年3月)
第198集 上ノ原山遺跡発掘調査報告書 (平成7年3月)
第199集 六反田遺跡 仙台市高速鉄道関係遺跡発掘調査報告書N- (平成7年3月)
第200集 四郎丸遺跡発掘調査報告書 (平成7年3月)
第201集 今泉遺跡第4次発掘調査報告書 (平成7年3月)
第202集 下ノ内浦遺跡第5次発掘調査報告書 (平成7年3月)
第203集 富沢・泉崎浦・山口遺跡(a) 第88・89次発掘調査報告書一 (平成7年3月)
第204集 年報16 (平成7年3月)

仙台市文化財報告書第204集

平成6年度
年 報 16

平成7年3月

発行 仙 台 市 教 育 委 員 会

仙台市青葉区国分町3-7-1

仙台市教育委員会文化財課

印刷 株式会社 共 新 精 版 印 刷

仙台宮城野区日の出町2-4-2

TEL 236-7181
